2013.11月 - 2
今月の
情報

温もりを届けたい、手からこころへ・・・・・・・・

たまちゃん通信 47号

http://www.otedama.jp　E-mail:honbu@otedama.jp
日本のお手玉の会本部
〒792-0013　愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL：0897-32-0302　FAX：0897-32-0311

お手玉遊び大会開催マニュアルの例【ここでの紹介は一部です】

1．大会開催のための企画書「例」
サンプルー 1/1　　大会開催のための企画ー①

「第○回　お手玉遊び□□市民大会」の企画書

1.　イベント名
日本のお手玉の会□□□支部設立○周年記念
第○回 お手玉遊び○○市民大会
●大会テーマ 「～ぬくもりを届けたい、手から心へ～」・笑顔ものきづな

2.　趣　旨
この大会は、日本のお手玉の会□□□設立○周年と□□市市制施行○周年の記念大会として実施する。
日本のお手玉の会□□□支部は、平成○年○月○日に□□市に誕生し、今年○周年を迎える。また、□□市は、昭和○年に市制を施行し、今年○周年を迎える。この２つの記念事業として、この大会を開催する。
記念大会には、□□市民はもとより、全国からお手玉ファンを□□市に迎え、お手玉遊びの技を競い合うとともに、伝承遊びに対する理解を深めるなど、その継承に役立てる。また、お手玉遊びをとおして、お互いに心と心をつなぐ交流を図り、友情の絆を深めることをねらいとする。
同時に、お手玉遊びによる子どもの脳の発育について考える講演会、シンポジウムを開催し、お手玉遊びが精神的な安定にもたらす可能性について考える機会とする。

3.　目　的
この大会は、参加者に伝承遊びとしてのお手玉を堪能してもらうとともに、その継承の大切さについての意識を高めることを目的とする。また、お手玉遊びが持つ精神衛生面に果たす役割と、子どもの脳の健全な発育に及ぼす効果についての認識を深めることを目的とする。
さらに、お手玉遊びによる交流をとおして、お互いの交流を深め、年齢、性別、地域を超えて、お互いの絆を深めることに役立てる。

4.　内　容
このイベントは、(1)講演会、(2)シンポジウム、(3)交流会、(4)お手玉競技「個人戦」、(5)お手玉競技「団体戦」の５つの行事で構成する。
第1部 講演会
演　題「『ゲーム脳』はお手玉で改善できる」(仮題)
～お手玉で壊れた脳を救い活性化する～
講　師　医学博士・□□大学教授　　○○　○○氏
開催日　平成○年○月○日(土)14:00～15:00
場　所　□□□□□福祉文化センター　　1階
参加者　５００人：教育関係者(保育園、幼稚園、小学校、高齢者福祉施設)、市民、大会参加者ほか
参加費　(有料か無料か検討中)

● 企画書は（実行員会設立時・ボランティア要請・行政関連機関・マスコミ各社・協賛企業各社）などに協力要請をお願いする際の説明材料として作成しておくことが大切です。

1．大会開催のための企画書「例」
サンプルー 1/2　　大会開催のための企画ー②

第2部　シンポジウム
テーマ「子どもの脳の発育と創造性の開発とお手玉」(仮題)パネリスト
医学博士・○○大学大学院教授　□ □ □ □ (日本のお手玉の顧問)
人形作家　□ □ □ □
詩人・○○○○協会副会長　□ □ □ □ (日本のお手玉の会会長)
教育学博士・○○大学名誉教授　□ □ □ □
(日本のお手玉の会○○お手玉の会会長)
医学博士・○○病院名誉院長　□ □ □ □ (日本のお手玉の会理事)

コーディネーター
○○○○達研究所講師　□ □ □ □
(日本のお手玉の会○○支部顧問)

共　演　開催日　平成○年○月○日(土)15:30～16:30
場　所　□□□□福祉文化センター　　1階
参加者　講演会参加者と同じ。

第3部　交流会
テーマ「笑顔の交流で友情の絆を深めよう」
交流会の中で、東日本大震災の被災地と「お手玉」を通して交流した活動の内容、各支部で、学校、地域で取り組んだ内容を報告しあう場とする。
開催日　平成○年○月○日(土)18:00～20:00
場　所　□□□□福祉文化センター　1階
参加者　大会に参加する各支部および会員、その他の関係者。200人。
参加費　○,○○○円／1人(予定)

第4部　競技大会　投げ玉「個人戦」・小学生の部・一般の部
開催日　平成○年○月○日(日) 9:30～12:00
場　所　□□□□福祉文化センター　　2階
参加者　500人
種　目　小学生の部(両手２個ゆり、片手２個ゆり、両手３個ゆり)
一　般の部(片手２個ゆり、両手投げ３個ゆり(ジャグリング)、両手３個ゆり、両手４個ゆり)
参加費　○○○円／1人・1種目[一人２種目以上・○,○○○円](小学生は無料)

第5部　競技大会　投げ玉「団体戦」・小学生の部・一般の部
開催日　平成○年○月○日(日)13:00～16:00
場　所　□□□□福祉文化センター　　2階
参加者　小学生の部　１０チーム(5人１組)　５０人
一　般の部　５０チーム(5人１組)　２５０人
参加費　○,○○○円／チーム(小学生チームは無料)

● 競技の個人戦・団体戦の参加登録料金は、大会開催時の運営資金の一部となり記念品や参加賞、賞状などに利用されますが、開催地域の状況により異なりますので、実行委員会の中で検討され決定ことが必要です。

1．大会開催のための企画書「例」
サンプルー 1/3　　大会開催のための企画ー③

5.　記念誌の発行
日本のお手玉の会設立２０周年を機に記念誌として、その歩みを編さんし「日本のお手玉の会の歩み」として発行する。
その内容は、□□□市が、平成１９年１０月に市制７０周年を記念して発行した３部作の「記念誌」の『お手玉』編を基本にし、その後の新しい情報を加えて編集する。
編さんに当たっては、□□□市が発行した記念誌の原版を借用し、その内容を踏襲するとともに、日本におけるお手玉の遊びの変遷を紹介し、今後の普及活動の進展に寄与する内容にまとめる。あわせて、制作費の軽減を図る。
記念誌の編集は、実行委員会の中に「記念誌編集部会」を設けて、作業に当たる。
「記念誌」は、完成した後本部運営費として有料(１，５００円)で頒布する。さらに、これからのお手玉遊びの普及のための教科書・参考書として継続して頒布していく。

6.　運営組織
この大会は、日本のお手玉の会と日本のお手玉の会新居浜支部、全国お手玉遊び大会実行委員会が、主催団体となる。
大会の企画は、日本のお手玉の会新居浜支部が担当する。運営については、日本の手玉お会新居浜支部の理事、世話人と、□□□市の職員、□□□高専、ボーイスカウト□□□市まちづくり協働オフィスに加盟するボランティアグループをはじめ、可能な限りの□□□市内のボランティアグループの応援により、全国お手玉遊び大会実行委員会を組織して担当する。(目標150人)

主　催　日本のお手玉の会、日本のお手玉の会新居浜支部、全国お手玉遊び大会実行委員会
共　催　□□□市、□□□市教育委員会、○○新聞社
後　援　総務省、文部科学省、厚生労働省、○○県
□□□商工会議所、□□□市観光協会、□□□市商店街連盟、○○○青年会議所、○○○商工会議所青年部、□□□市まちづくり協働オフィス、□□□市保育協議会、○○○市倫理法人会、□□□○○倫理法人会、□□□市連合婦人会、□□□市社会福祉協議会、○○みすゞコスモス、おもちゃ図書館『きしゃポッポ』、○○○女性ビデオクラブ、○○○市文化芸術市民の会、元気!プロジェクト
ＮＨＫ○○放送局、□□放送、○○テレビ、△△放送、○○□□放送、○○CATV、□□中央CATV放送ほか(予定)

7.　費　用
総　額　○,○○○,○○○円(「記念誌」発行予算を含む。詳細は別紙「予算書」をご参照ください。)
以　上

1．大会開催のための予算書「例」
サンプルー 1/4　　大会開催のための企画ー④

予　算　書(案)
(単位:円)

科　目		予算額	明　細
収入	行政補助金	【　】	□□□市から
	本部助成金	【　】	日本のお手玉の会から
	協賛金	【　】	個人、団体
	事業収入	【　】	お手玉グッズ販売
	広告収入	【　】	広告掲載料(協賛広告)
	競技参加費	【　】	団体(50チーム)個人(300人)
	交流会参加費	【　】	○,○○○円×160人(飲み物含む)
	雑収入	【　】	祝儀収入ほか
	計	【　】円	
支出	会場設営費	【　】	看板、畳ﾘｰｽ、人形展示ほか
	音響設営費	【　】	音響設備
	表彰費・賞品	【　】	賞品・賞状ほか
	参加費・記念品	【　】	参加記念品
	来賓接待費	【　】	来賓、講師宿泊費、交通費
	講演費	【　】	講演料、謝礼ほか
	謝礼金	【　】	司会、書道、ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞほか
	運営委員昼食費	【　】	700円×150、1,000円×20
	前夜祭費	【　】	5,000円×160
	印刷費	【　】	大会要領、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの印刷
	広告・宣伝費	【　】	ポスター、チラシ
	記録費用・用品	【　】	写真・記録ビデオほか
	通信・運搬費	【　】	案内郵送費ほか
	会議費	【　】	委員会、審判講習会ほか
	パート費用	【　】	パート２か月雇用
	予備費	【　】	
	計	【　】円	

収支残額の使途(くわしくご記入ください)
今後のお手玉遊びの普及活動費に充当する。

4．行政機関への後援等の申請書「例」
サンプルー 4/1　　行政機関への後援依頼申請書
（各市町村の行政に専用の後援依頼申請書の備えがある場合もあります。）

後　援　等　申　請　書

平成　年　月　日

（あて先）　　市長

主催団体名　日本のお手玉の会□□支部
役職名　□□支部長
代表者氏名　○　○　○　○

このたび下記事業を開催しますので、その趣旨にご賛同のうえ共催・後援・協賛くださいますよう関係書類添付のうえ申請いたします。

事　業　計　画　書

事業名　第○回　□□□□お手玉遊び大会
会　場　□□□福祉文化センター
期日・時間　平成　年　月　日（　）　９：３０～１６：００
主　催　日本のお手玉の会□□□□支部
共　催　日本のお手玉の会、□□□市、□□□市教育委員会ほか（予定）
後　援　□□県、□□□市観光協会、□□□商工会議所ほか（予定）
協　賛　□□市観光協会、□□商工会議所、□□□新聞社、□□□テレビ、□□ＣＡＴＶ、

趣旨・目的
日本の伝統であるお手玉文化の継承とお手玉を通じた三世代交流の推進を図り、心豊かなまちづくりに貢献することを目的とする。
事業目的
お手玉遊びを通じた交流、お手玉技量の向上、お手玉文化の伝承
（お手玉遊び競技・個人戦、団体戦）

参加者人数　３００人（対象：一般市民、お手玉愛好家、市外からの参加者、その他）

過去の後援等申請有　・　無　　有の場合、その申請年度と内容

平成　年度　第○回　□□□□お手玉遊大会
希望共催　　後援　・　協賛
連絡先住所
氏　名
電話番号　〒□□□－□□□□
市　町　番　号　日本のお手玉の会　□□□支部（○○）
ＴＥＬ（　－　－　）ＦＡＸ(　-　-　)

備　考
※　添付書類
事業計画書、予算書、団体調査表、その他（事業内容のわかる資料・団体の概要がわかる資料等。）。

9．企業・各種団体への協賛依頼文「例」
サンプルー9/1　　協賛金の協力お願い文

○○○株式会社
代表取締役社長 □□太郎様
（協賛依頼会社名・代表取締役名）

平成　年　月　日

日本のお手玉の会□□□支部
□□□支部長　□ □ □ □

「第○回 □□□□お手玉遊び大会」ご協賛のお願い

拝啓　時下ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。
平素は、私どものお手玉遊びの普及による心豊かなまちづくりの活動に、格別のご支援、ご援助をいただき誠にありがとうございます。心から感謝しております。
このたび、「第○回□□□□お手玉遊び大会」を開催いたします。この大会は、子どもさんから年配者の方まで、幅広い市民のみなさんにご参加いただき、お手玉遊びをとおして、世代を超えた笑顔の交流を深めていただくことを目指しています。
大会は、すべてボランティアで運営し、資金は、私たちお手玉の会の会費を当てています。また、参加者から会費を徴収しますが、運営費用に不足が生じます。
誠に心苦しいお願いでございますが、大会の開催にあたりまして各企業、各団体、市民の皆様方に、ご協賛のお願いを申しあげる次第でございます。
厳しい経済環境のなか誠に恐れ入りますが、大会の趣旨にご賛同いただき、ご協力、ご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。
時節柄、ご健勝を心からお祈りしております。　　敬　具

記

1.　事業名　「第○回□□□□お手玉遊び大会」
2.　実施日　平成　年　月　日(　)
3.　場　所　□□□□センター(　　)
4.　主催者　日本のお手玉の会□□□□支部
5.　共　催　□□□□市、□□□□市教育委員会
6.　後　援　□□新聞社、□□ＴＶ放送、□□□社会福祉協議会
□□□ＣＡＴＶ、□□□商工会議所、ほか
以　上

全頁・78 ページに渡り
収録されています。

■ 上記のようにお手玉遊び大会を開催のため , 実際に使用した各資料が 78 頁に渡り収録され、しかもすぐに使用できる書類をワードデータや会場づくり・進行台本シナリオなどＣＤ化にして大会マニュアル集を完成いたしています。また、この資料は他にも応用可能で参考になります。ご希望の方は日本のお手玉の会へお問合わせ下さい。